

平安時代の貴族のくらしを調べた。

「貴」を使って、文を作ろう。

言葉と例文を読もう。★の言葉をなぞって、書こう。

「貴重な体験。」

「昔の貴族。」

「貴重品を預ける。」

「兄貴と遊ぶ。」

「貴金属の指輪。」

きちゅう

ちんく

きちょうひん

貴重

貴重

貴族

貴族

貴重口口

貴
重
口口

貴

12画

部首 貝
(かい)

音
丰

意味
とうとい。大切な。

1 

2 

3 

4 

5 

6 

7 

8 

9 

10 

11 

12 

1 書き順をたしかめて、5回書こう。

- ・「貴」は12画。書き順の図の青い線は「いま書く画」、●は書きはじめ。3の文は一例です。
- ・読みは、文部科学省「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」で小学校に割り振られた音訓です。